

Dell EMC Networking
N3024EP-ON、 N3024ET-ON、
N3024EF-ON、 N3048EP-ON、
N3048ET-ON スイッチ

『はじめに』



認可モデル : E06W、 E07W

メモ、注意、警告

-  **メモ**：スイッチを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 Dell Inc. またはその関連会社。All rights reserved. 本製品は、米国および国際的な著作権法および知的財産法によって保護されています。Dell、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されている他のすべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

認可モデル：E06W、E07W

内容

1	はじめに	5
	N3000ET-ON/N3000EP-ON ハードウェアの概要	5
	N3024EP-ON および N3048EP-ON PoE スイッチの電力消費量および電力バジェット	5
	通気システム	6
	N3000ET-ON/N3000EP-ON モデルの概要	7
2	N3000ET-ON/N3000EP-ON 取り付け	8
	N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチのラック収納	8
	ラックへの取り付け	8
	複数の N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチのスタック	10
3	N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの開始および設定 N3000ET-ON/N3000EP-ON 設定	11
	N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの端末への接続	12
	N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの電源への接続	13
	AC および DC 電源 の接続	13

スイッチの起動 N3000ET-0N/N3000EP-0N . . .	14
N3000ET-0N/N3000EP-0N の初期設定の実行 . . .	15
リモート管理の有効化	15
初期設定の手順	16
セッションの例	17
Dell EMC Easy Setup ウィザード コン ソールの例	18
次の手順	23
4 動作高度 - 情報アップデート	24

はじめに

本書では、Dell EMC Networking N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチに関する基本情報として、本スイッチの取り付け方法および初期設定方法などを説明します。スイッチ機能の設定および監視方法の詳細については、dell.com/support にあるデル EMC サポートサイトで入手できる『*User Configuration Guide (ユーザー設定ガイド)*』を参照してください。マニュアルおよびファームウェアの最新アップデートについては、サポートウェブサイトを参照してください。



メモ：スイッチ管理者は、最新版の Dell EMC Networking オペレーティングシステム (DNOS) 上の Dell EMC Networking スイッチを保守することを強く推奨します。Dell EMC Networking は、お客様のフィードバックに基づいて DNOS の機能を絶えず向上させています。重要なインフラストラクチャについては、DNOS バージョンとのネットワーク設定および操作を検証するために、新しいリリースの事前ステージをネットワークの重要性の低い部分に行うことをお勧めします。

N3000ET-ON/N3000EP-ON ハードウェアの概要

本項では、Dell EMC Networking N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチのデバイスの特徴およびモジュラーハードウェア構成について説明します。

N3024EP-ON および N3048EP-ON PoE スイッチの電力消費量および電力バジェット

表 1-1 は、N3024EP-ON および N3048EP-ON PoE スイッチの電力消費量を記載しています。

表 1-1. N3024EP-ON/N3048EP-ON PoE スイッチの電力消費量

モデル	入力電圧	電源設定	最大定常電流消費 (A)	最大定常電力 (W)
N3024EP-ON/ N3048EP-ON	100V/60Hz	PSU1 + PSU2	21.8	2180.0
	110V/60Hz	PSU1 + PSU2	19.5	2145.0
	120V/60Hz	PSU1 + PSU2	17.8	2136.0
	220V/50Hz	PSU1 + PSU2	9.31	2048.2
	240V/50Hz	PSU1 + PSU2	8.6	2064.0

表 1-2 に示すように、PoE 電力バジェットは、1100 W の電源 1 つを搭載したスイッチの場合は 950 W、1100 W の電源 2 つを搭載したスイッチの場合は 1900 W です。

表 1-2. Dell EMC Networking N3024EP-ON PoE 電力バジェットの最大値

モデル名	PSU 1 つ		2 台の PSU	
	最大 PSU 出力能力	PoE+ 電源投入制限	最大 PSU 出力能力	PoE+ 電源投入制限
Dell EMC Networking N3024EP-ON	1100 W	電力バジェット 950 W： PoE 電力供給の合計は 950 W を超えないようにする必要があります。	2200 W	電力バジェット 1900 W： すべての PoE+ ポートで最大電力を供給できます。
Dell EMC Networking N3048EP-ON	1100 W	電力バジェット 950 W： PoE 電力供給の合計は 950 W を超えないようにする必要があります。	2200 W	電力バジェット 1900 W： すべての PoE+ ポートで最大電力を供給できます。

通気システム

2 台のファンが N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチを冷却します。また、スイッチにはそれぞれの内蔵電源にファンがついています。N3000ET-ON/N3000EP-ON ファンはフィールド交換可能ユニット (FRU) です。

N3000ET-ON/N3000EP-ON モデルの概要

表 1-3. N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチ認可番号

マーケティング モデル名 (MMN)	説明	電源装置ユ ニット (PSU)	認可モデル 番号 (RMN)	認可タイプ 番号 (RTN)
N3024EP-ON	24 x 1G / 2 x 1G コンボ / 2 x 10G SFP+ / 2 x スタッキング / 1 x モジュラーベイ / N+1 冗長プラグابل PSU / PoE+ 24 ポート / PoE 60 W 対応 12 ポート / 1 x リムーバブルファンモ ジュール	715 W/ 1100 W	E06W	E06W001
N3024ET-ON	24 x 1G RJ-45 / 2 x 1G SFP コンボ / 2 x 10G SFP+ / 2 x スタッキング / 1 x モジュラーベイ / N+1 冗長プラグابل PSU / 1 x リムーバブルファンモ ジュール	200 W	E07W	E07W001
N3024EF-ON	24 x 1G SFP / 2 x 1G SFP コンボ / 2 x 10G SFP+ / 2 x スタッキング / 1 x モジュラーベイ / N+1 冗長プラグابل PSU / 1 x リムーバブルファンモ ジュール	200 W	E07W	E07W003
N3048EP-ON	48 x 1G / 2 x 1G コンボ / 2 x 10G SFP+ / 2 x スタッキング 1 x モジュラーベイ / N+1 冗長プラグابل PSU / PoE+ 48 ポート / PoE 60 W 対応 12 ポート / 1 x リムーバブルファンモ ジュール	715 W/ 1100 W	E06W	E06W002
N3048ET-ON	48 x 1G RJ-45 / 2 x 1G コンボ / 2 x 10G SFP+ / 2 x スタッキング / 1 x モジュラーベイ / N+1 冗長プラグابل PSU / 1 x リムーバブルファンモ ジュール	200 W	E07W	E07W002

N3000ET-ON/N3000EP-ON 取り付け

N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチのラック収納

 **警告：**安全および認可に関する情報およびスイッチに接続またはサポートしている他のスイッチについての安全情報をお読みください。

AC 電源コネクタはスイッチの背面パネルにあります。

ラックへの取り付け

 **警告：**ラック取り付けキットを使用して、テーブルや机の下からスイッチをぶら下げたり、壁に取り付けたりしないでください。

 **注意：**スイッチからすべてのケーブルを外して、続行します。取り付けられている場合はスイッチの下側からすべての粘着パッドを取り外します。

 **注意：**ラックに複数のスイッチを取り付ける場合は、下から上に取り付けます。

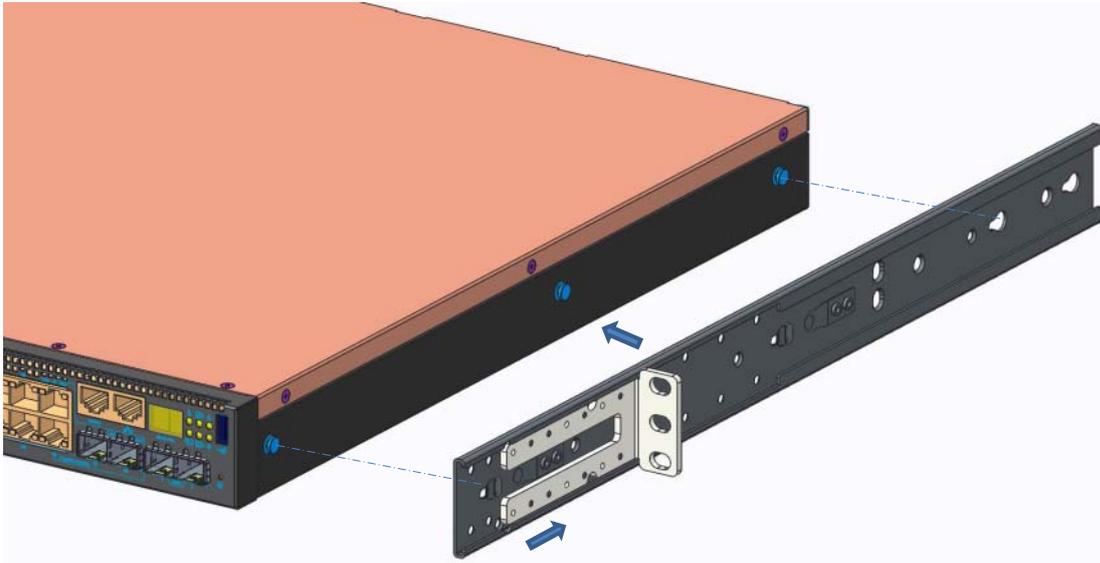


メモ：この取り付け手順は、2 ポストラック専用です。

- 1 同梱のラック取り付けブラケットを、ラック取り付けブラケットにある3つの洋ナシ型の穴がシャーシにある3つの突起部分と揃うようにスイッチの片側にセットします。

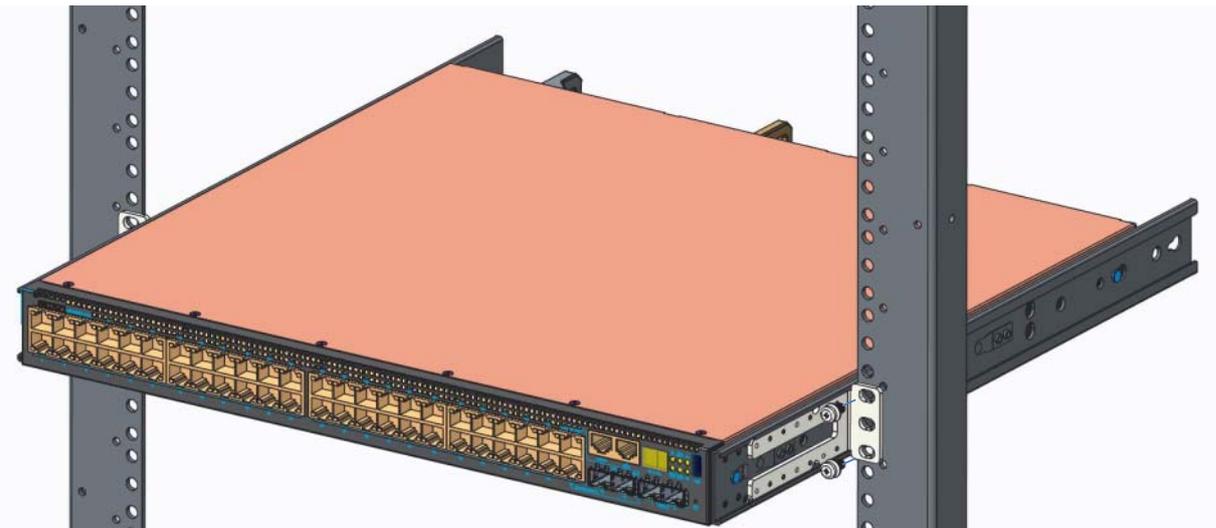
図 1-1 は、ブラケットの位置を突起に合わせる方法を示しています。

図 1-1. ブラケットの位置を合わせる



- 2 ラック取り付けブラケットを後ろに向けて押して、ブラケットをロック位置に固定します。
- 3 スイッチの反対側のラック取り付けブラケットについて同じプロセスを繰り返します。
- 4 スイッチを 48.26 cm (19 インチ) ラックに挿入し、ブラケットのラック取り付け穴がラックの取り付け穴と揃っていることを確認します。

図 1-2. ラックへのブラケットの固定



- 5 ラックボルトまたはケージナットおよびワッシャ付きのケージナットボルトのいずれか（お使いのラックの種類による）でブラケットをラックに固定します。底部のボルトを締めてから、上部のボルトを締めます。
- 6 ブラケットをラックの反対側に固定する際に、同じプロセスを繰り返します。



メモ： 通気孔がふさがれていないことを確認します。

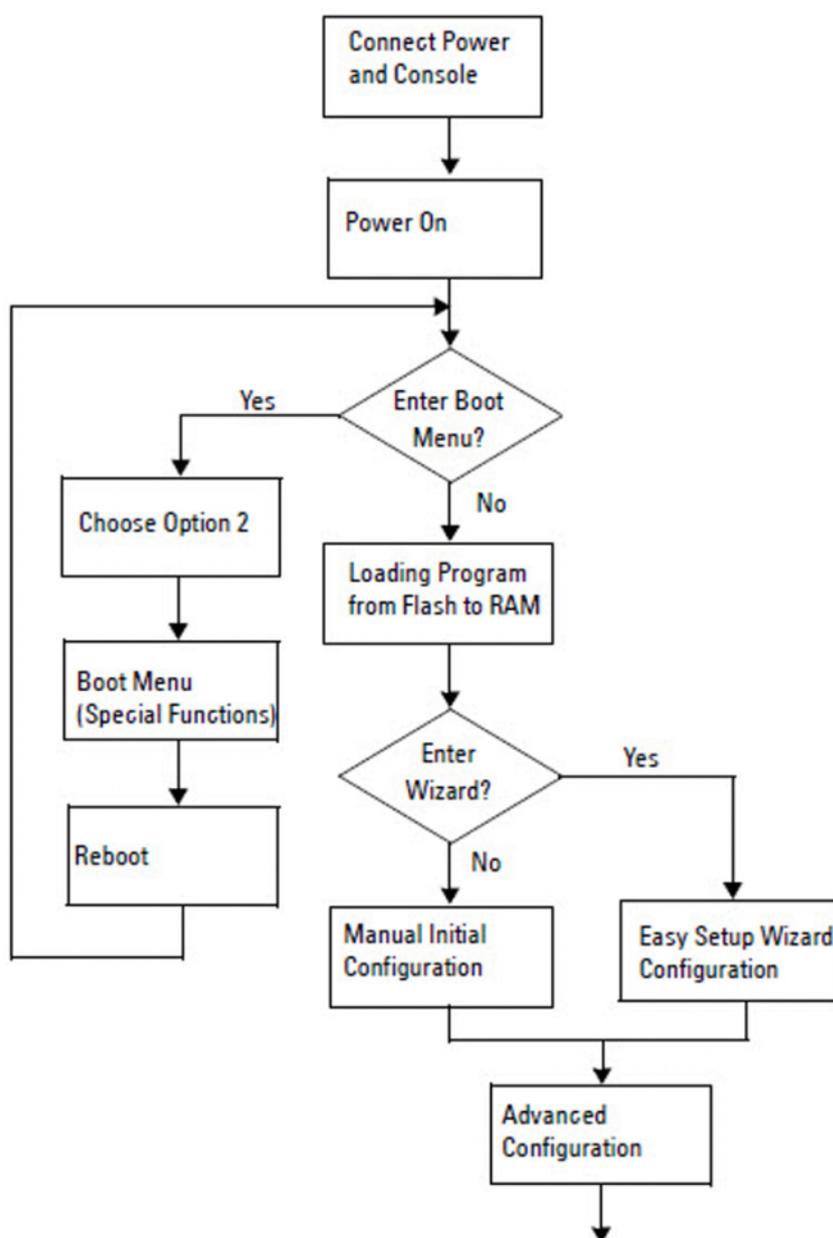
複数の N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチのスタック

スイッチの背面にある固定された mini-SAS スタッキングポートを使って、N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチを 12 個までスタックすることができます。複数のスイッチがスタックポートを通して接続されている場合、最大 576 個の正面パネルポートの付いた単一のユニットとして動作します。スタックは、単一のエンティティとして動作し管理されます。詳細については、『*User Configuration Guide*（ユーザー設定ガイド）』および『*CLI Reference Guide*（CLI リファレンスガイド）』を参照してください。

N3000ET-0N/N3000EP-0N スイッチの開始および設定 N3000ET-0N/N3000EP-0N 設定

次のフローチャートは、スイッチを開梱し取り付けた後に行う初期設定に使用する手順の概要を記載しています。

図 1-3. インストールおよび設定のフローチャート



N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの端末への接続

すべての外部接続の完了後、端末に接続することによってスイッチを設定します。

 **メモ**：本製品のリリースノートを読んでから先へ進みます。リリースノートは dell.com/support のデルサポートサイトからダウンロードすることができます。

 **メモ**：Dell は、dell.com/support のデルサポートサイトから最新版のユーザーマニュアルを入手することを推奨します。

USB コンソールからスイッチを監視および設定するには、スイッチの前面パネルのコンソールポートを使用し、付属の USB ケーブルを使用して VT100 端末エミュレーションソフトウェアを実行しているコンピュータに接続します。USB ケーブルを初めて使用する場合は、ドライバをダウンロードおよびインストールする必要があります。

コンソールポートを使用するために必要なものは以下のとおりです。

- HyperTerminal® および USB ドライバなどの VT100 端末エミュレーションソフトウェアを実行している USB ポートの付いた VT100 対応コンピュータ。
- コンソールポート用のタイプ B USB コネクタおよびホスト PC 用の USB コネクタの付いた付属の USB ケーブル。

以下の作業を行って端末をスイッチコンソールポートに接続します。

- 1 USB タイプ B コネクタを付属のスイッチに接続し、他端を VT100 端末エミュレーションソフトウェアを実行しているコンピュータに接続します。
- 2 ターミナルエミュレーションソフトウェアを以下のように設定します。
 - a 適切なシリアルポート（COM 1 など）を選択して、コンソールに接続します。
 - b データ速度を 115,200 ボーに設定します。
 - c データフォーマットを 8 data bits、1 stop bit、no parity に設定します。
 - d フロー制御を none（なし）に設定します。
 - e ターミナルエミュレーションモードを **VT100** に設定します。

- f ファンクションキー、矢印キー、および Ctrl キーでターミナルキーを選択します。設定がターミナルキーであることを確認してください（Microsoft Windows キーではありません）。
- 3 ケーブルの USB タイプ B コネクタをスイッチのコンソールポートに直接接続します。Dell EMC Networking コンソールポートはフロントパネルの右側にあり、|O|O| のシンボルの付いたラベルが貼られています。



メモ：スタックマネージャへのコンソールからのアクセスは、ローカル CLI 経由でコンソールポートから行うことができます。一度に 1 つの USB コンソールセッションのみがサポートされています。

N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの電源への接続

△ **注意：**安全および認可に関する情報マニュアルおよびスイッチに接続またはサポートしている他のスイッチについての安全情報をお読みください。

N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチは 1 つまたは 2 つの FRU 電源装置をサポートします。電源コンセントは背面パネルにあります。

AC および DC 電源の接続

- 1 スイッチのコンソールポートは USB から USB タイプ B ケーブル経由で VT100 ターミナルエミュレータを実行する PC に接続されていることを確認します。
- 2 1.5 m (5 フィート) のノッチ付きコネクタ装備の高耐久性電源ケーブル (PoE モデル)、または標準電源ケーブル (非 PoE モデル) と安全用アース接続を使用して、電源ケーブルを背面パネルにある AC メインコンセントに接続します。
- 3 電源ケーブルを接地された AC コンセントに接続します。

スイッチの起動 N3000ET-ON/N3000EP-ON

ローカル端末をすでに接続した状態で電源をオンにすると、スイッチがパワーオンセルフテスト（POST）を完了します。POSTはスイッチを初期化される度に実行され、完全に起動する前にスイッチが完全に動作するかどうかを判断するためにハードウェアコンポーネントをチェックします。POSTで重大な問題が検出された場合、プログラムのフローは停止します。POSTが合格の場合、有効なファームウェアがRAMにロードされます。POSTメッセージが端末に表示され、テストの合否を示します。起動処理は約60秒実行されます。

最初のPOSTが完了してから **Boot（ブート）**メニューを起動できます。**Boot（ブート）**メニューから、システムを工場出荷時のデフォルトにリセットするなどの設定タスクを実行し、バックアップイメージのアクティブ化、またはパスワードの再設定をすることができます。**Boot（ブート）**メニュー機能の詳細については、*CLI Reference Guide（CLIリファレンスガイド）*を参照してください。

N3000ET-ON/N3000EP-ON の初期設定の実行

初期設定の手順は、次の前提に基づいています：

- Dell EMC Networking スイッチは一度も設定されたことがない。
- Dell EMC Networking スイッチが正常に起動した。
- コンソールの接続が確立され、**Dell EMC Easy Setup** ウィザード プロンプトが端末エミュレーションソフトウェアを実行している PC の画面に表示されます。

スイッチの初期設定はコンソールポートを介して実行されます。初期設定後は、すでに接続されているコンソールポートまたは初期設定時に定義したインタフェースを介してリモートでスイッチを管理できます。

 **メモ：**スイッチはデフォルトのユーザー名、パスワード、または IP アドレスで設定されていません。

スイッチの初期設定を行う前に、ネットワーク管理者から以下の情報を入手します。

- IP アドレスは、管理インタフェースに割り当てます。
- ネットワーク用の IP サブネットマスク。
- 管理インタフェースのデフォルトゲートウェイの IP アドレス。

これらの設定は、Telnet (Telnet クライアント) または HTTP (Web ブラウザ) を介したスイッチのリモート管理を可能にするために必要です。

リモート管理の有効化

N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの正面パネルには、帯域外 (OOB) の管理のため、ギガビットイーサネットポートがあります。OOB ポートはコンソールポートの右にあります。N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチでは、帯域内管理用の正面パネルのスイッチポートのいずれかを追加で使用できます。デフォルトでは、帯域内ポートは VLAN 1 に所属します。

Dell EMC Easy Setup ウィザード には、N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチの OOB 管理インタフェースと VLAN 1 インタフェースのネットワーク情報を設定するプロンプトが含まれています。静的 IP アドレスおよびサブネットマスクを割り当てるか DHCP を有効化してネットワーク DHCP サーバーが情報を割り当てられるようにすることができます。

ネットワーク情報を設定するコマンドについては、*CLI Reference Guide* (CLI リファレンスガイド)を参照してください。

初期設定の手順

Dell EMC Easy Setup ウィザード を使用して、または CLI を使用して初期設定を実行します。ウィザードは、スイッチ設定ファイルが空のときに自動的に起動します。Ctrl+Z を入力して、いつでもウィザードを終了できますが、指定されたすべての設定は破棄され、スイッチはデフォルト値を使用します。

 **メモ**：Dell EMC Easy Setup ウィザード を実行しないまたは 60 秒以内に最初の Easy Setup Wizard プロンプトに回答しない場合、スイッチは CLI モードに入ります。Dell EMC Easy Setup ウィザードに戻るには、空の起動設定でスイッチをリセットする必要があります。

CLI を使用した初期設定を行う方法の詳細については、*CLI Reference Guide* (CLI リファレンスガイド)を参照してください。この『はじめに』では、スイッチの初期設定のための **Dell EMC Easy Setup ウィザード** の使用方法を示しています。ウィザードは、スイッチ上での以下の設定をセットアップします。

- 有効なパスワードを持つ初期特権ユーザーアカウントを確立します。ウィザードにより、セットアップ中に 1 つの特権ユーザーアカウントを設定します。
- CLI ログインおよび HTTP アクセスを有効にし、ローカル認証設定のみを使用します。
- OOB 管理インターフェイス用の IP アドレスを設定します。
- VLAN 1 ルーティングインターフェイス用の IP アドレスを設定します。これには、すべての帯域内ポートが所属します。
- 指定された IP アドレスで使用する SNMP マネージャが使用する SNMP コミュニティストリングを設定します。SNMP 管理がこのスイッチに使用されない場合は、この手順をスキップします。
- ネットワーク管理システムの IP アドレスを指定またはすべての IP アドレスから管理アクセスを許可できます。
- VLAN 1 インターフェイス用のデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。

セッションの例

このセクションでは、**Dell EMC Easy Setup** ウィザード セッションについて記載しています。次の値は、セッションの例で使用されます：

- 使用する SNMP コミュニティストリングは **public** です。
- ネットワーク管理システム (NMS) IP アドレスは、**10.1.2.100** です。
- ユーザー名は **admin** で、パスワードは **admin123** です。
- OOB 管理インターフェースは **DHCP** を使用して IP アドレス割り当てます。
- VLAN 1 ルーティングインターフェースの IP アドレスは **10.1.1.200** で、サブネットマスクは **255.255.255.0** です。
- デフォルトゲートウェイは **10.1.1.1** です。
- セットアップウィザードでは上記に定義された初期値を設定します。ウィザードを完了したら、スイッチは以下のように設定されます：
 - SNMPv2 が有効になり、コミュニティストリングが上記のように設定されます。SNMPv3 はデフォルトで無効になっています。
 - 管理者ユーザーアカウントは定義されたとおりに設定されます。
 - ネットワーク管理システムが設定されます。管理ステーションから、SNMP、HTTP、および CLI インターフェースにアクセスできます。(0.0.0.0) IP アドレスを選択することですべての IP アドレスがこれらの管理インターフェースにアクセスできるよう選択することもできます。
 - DHCP は OOB 管理インターフェースで有効です。
 - IP アドレスは、VLAN 1 ルーティングインターフェース用に設定されます。
 - デフォルトのゲートウェイアドレスが設定されます。



メモ： 次の例では、ユーザーが実行可能なオプション、またはデフォルト値は [] で囲まれます。オプションを定義せずに <Enter> を押すと、デフォルト値が受け入れられます。ヘルプテキストは括弧に入っています。

Dell EMC Easy Setup ウィザード コンソールの例

次の例には、前述の入力値を使用した例の Dell EMC Easy Setup ウィザード セッションの実行に関連したプロンプトおよび応答の順序が含まれています。

スイッチが POST が完了して起動すると、次のダイアログが表示されます：

```
Unit 1 - Waiting to select management unit)>
```

```
_____Dell SupportAssist EULA_____
```

```
I accept the terms of the license agreement. You can
reject the license agreement by configuring this
command 'eula-consent support-assist reject'.
```

```
By installing SupportAssist, you allow Dell to save
your contact information (e.g. name, phone number
and/or email address) which would be used to provide
technical support for your Dell products and services
Dell may use the information for providing
recommendations to improve your IT infrastructure.
Dell SupportAssist also collects and stores machine
diagnostic information, which may include but is not
limited to configuration information, user supplied
contact information, names of data volumes, IP
addresses, access control lists, diagnostics &
performance information, network configuration
information, host/server configuration & performance
information and related data (Collected Data) and
transmits this information to Dell. By downloading
SupportAssist and agreeing to be bound by these terms
and the Dell end user license agreement, available at:
http://www.dell.com/aeula, you agree to allow Dell to
provide remote monitoring services of your IT
environment and you give Dell the right to collect the
Collected Data in accordance with Dell's Privacy
Policy, available at:
http://www.dell.com/privacypolicycountryspecific, in
order to enable the performance of all of the various
functions of SupportAssist during your entitlement to
```

receive related repair services from Dell. You further agree to allow Dell to transmit and store the Collected Data from SupportAssist in accordance with these terms. You agree that the provision of SupportAssist may involve international transfers of data from you to Dell and/or to Dell's affiliates, subcontractors or business partners. When making such transfers, Dell shall ensure appropriate protection is in place to safeguard the Collected Data being transferred in connection with SupportAssist. If you are downloading SupportAssist on behalf of a company or other legal entity, you are further certifying to Dell that you have appropriate authority to provide this consent on behalf of that entity. If you do not consent to the collection, transmission and/or use of the Collected Data, you may not download, install or otherwise use SupportAssist.

_____AeroHive HiveManager NG EULA_____

This switch includes a feature that enables it to work with HiveManager (an optional management suite), by sending the switch's service tag number and IP Address to HiveManager to authenticate your entitlement to use HiveManager. If you wish to disable this feature, you should run command 'eula-consent hiveagent reject' immediately upon powering up the switch for the first time, or at any time thereafter.

Applying Global configuration, please wait...

Welcome to Dell Easy Setup Wizard

The setup wizard guides you through the initial switch configuration, and gets you up and running as quickly as possible. You can skip the setup wizard, and enter CLI mode to manually configure the switch. You must respond to the next question to run the setup wizard within 60 seconds, otherwise the system will continue

with normal operation using the default system configuration. Note: You can exit the setup wizard at any point by entering [ctrl+z].

Would you like to run the setup wizard (you must answer this question within 60 seconds)? [Y/N] **y**

Step 1:

The system is not set up for SNMP management by default. To manage the switch using SNMP (required for Dell Network Manager) you can

- . Set up the initial SNMP version 2 account now.
- . Return later and set up other SNMP accounts. (For more information on setting up an SNMP version 1 or 3 account, see the user documentation).

Would you like to set up the SNMP management interface now? [Y/N] **y**

To set up the SNMP management account you must specify the management system IP address and the "community string" or password that the particular management system uses to access the switch. The wizard automatically assigns the highest access level [Privilege Level 15] to this account. You can use Dell Network Manager or other management interfaces to change this setting, and to add additional management system information later. For more information on adding management systems, see the user documentation.

To add a management station:

Please enter the SNMP community string to be used.
[public]: **public**



メモ：これが設定されている場合、デフォルトのアクセスレベルは SNMP 管理インタフェースで利用できる最高のアクセスに設定されます。最初に SNMPv2 のみが有効になります。SNMPv3 のセキュリティアクセスの設定に戻るまでは SNMPv3 は無効です（例えば、エンジン ID、ビュー等）。

Please enter the IP address of the Management System (A.B.C.D) or wildcard (0.0.0.0) to manage from any Management Station. [0.0.0.0]: **10.1.2.100**

Step 2:

Now we need to set up your initial privilege (Level 15) user account. This account is used to login to the CLI and Web interface. You may set up other accounts and change privilege levels later. For more information on setting up user accounts and changing privilege levels, see the user documentation.

To set up a user account:

Please enter the user name. [root]: **admin**

Please enter the user password: *********

Please reenter the user password: *********

Step 3:

Next, an IP address is set up on the VLAN 1 routing interface.

You can use the IP address to access the CLI, Web interface, or SNMP interface of the switch.

To access the switch through any Management Interface you can

- . Set up the IP address for the Management Interface.
- . Set up the default gateway if IP address is manually configured on the routing interface.

Would you like to set up the Out-Of-Band interface now? [Y/N] **y**

Please enter the IP address of the device (A.B.C.D) or enter "DHCP" (without the quotes) to automatically request an IP address from the network DHCP server.

[192.168.2.1]: **dhcp**

Step 4:

Would you like to set up the VLAN1 routing interface now? [Y/N] **y**

Please enter the IP address of the device (A.B.C.D) or enter "DHCP" (without the quotes) to automatically request an IP address from the network DHCP server:
10.1.1.200

Please enter the IP subnet mask (A.B.C.D or /nn):
255.255.255.0

Step 5:

Finally, set up the default gateway. Please enter the IP address of the gateway from which this network is reachable. [0.0.0.0]: **10.1.1.1**

This is the configuration information that has been collected:

```
SNMP Interface = "public"@10.1.2.100
User Account setup = admin
Password = *****
VLAN1 Router Interface IP = 10.1.1.200 255.255.255.0
Default Gateway = 10.1.1.1
```

Step 6:

If the information is correct, please enter (Y) to save the configuration and copy the settings to the start-up configuration file. If the information is incorrect, enter (N) to discard the configuration and restart the wizard: [Y/N] **y**

Thank you for using the Dell Easy Setup Wizard. You will now enter CLI mode.

Applying Interface configuration, please wait...

次の手順

本項に記載の初期設定が完了したら、OOB ポートを帯域外リモート管理用の管理ネットワークに接続するか、または正面パネルのスイッチポートのいずれかを帯域内リモート管理用の生産ネットワークに接続することができます。

OOB インタフェースまたは VLAN 1 管理インタフェースの IP アドレス用の DHCP を指定した場合、インタフェースはネットワーク上の DHCP サーバから IP アドレスを取得します。動的に割り当てられた IP アドレスを検出するには、コンソールポート接続を使用して次のコマンドを発行します：

- OOB インタフェースの場合、**show ip interface out-of-band**（帯域外の IP インタフェースを表示）と入力します。
- VLAN 1 ルーティングインタフェースの場合、**show ip interface**（IP インタフェースを表示）と入力します。

Dell OpenManage Switch Administrator インタフェースにアクセスするには、Web ブラウザのアドレスフィールドに OOB 管理インタフェースの IP アドレス、または、VLAN 1 管理インタフェースの IP アドレスを入力します。CLI にリモート管理アクセスするには、OOB 管理インタフェースの IP アドレス、または、VLAN 1 管理インタフェース IP アドレスを Telnet または SSH クライアントに入力します。または、スイッチへのローカル CLI アクセス用のコンソールポートの使用を続行します。

N3000ET-ON/N3000EP-ON スイッチは、VLAN やスパニングツリープロトコルなどの基本のスイッチ機能をサポートします。お使いのネットワークに必要な機能を設定するために Web ベースの管理インタフェースまたは CLI を使用します。スイッチの機能の設定方法については、サポートサイト：dell.com/support で入手可能な *User Configuration Guide*（ユーザー設定ガイド）または『*CLI Reference Guide*（CLI リファレンスガイド）』を参照してください。

動作高度 - 情報アップデート

 **メモ**：このマニュアルに記載されている動作高度の制約は、中国に出荷されるシステムにのみ適用されます。

次の情報は、中国の公式規格の要件に従っています。

- 動作高度は -15.2 m ~ 2000 m (-50 ft ~ 6560 ft) の範囲内です。
- 高度が 2950 フィートを超えると、動作時の許容最大温度は、550 フィートごとに 1 °F ずつ低下します。

www.dell.com | dell.com/support